

いわて未来づくり機構 産業復興作業部会の活動状況等(28.2.1)

テーマ： 産業基盤の集積と強化について

座長：藤代 博之

担当機関：岩手大学

報告要旨

本部会では、機構設立当時から地域ものづくり産業に対して本部会を中心とする地域産学官が支援すべき7項目について順次検討を行ってきたが、その中で懸案事項であった企業連携や産業復興に不可欠なコーディネーターの活動の在り方について、重点的に調査検討を行ってきた。

具体的には、産業支援機関が開催したコーディネーター研修に関する会議に参加して具体的な課題を把握するとともに、他県先進事例の調査、さらには県内全自治体を対象とするコーディネーターアンケート調査を実施してきており、年度内にこれらを分析してコーディネーターのあるべき方策についての提言素案を作成することとしている。

1. 平成27年度の作業部会開催実績と検討内容等（アウトプット）

平成27年 8月 5日	コーディネータースキルアップセミナーへの参加
10月28日	産学官連携コーディネータースキル向上セミナーへの参加
11月13日	(公財) 横浜企業経営支援財団調査
12月 3日	(公財) 浅間リサーチエクステンションセンター調査

2. 平成27年度の活動に係る成果と課題等の評価（アウトカム）

平成27年度活動計画	平成27年度活動状況・成果・課題
<ul style="list-style-type: none">・コーディネーター活動に関するアンケートを県庁政策地域部科学ILC推進室に協力を頂き実施する。・アンケート結果を分析するとともに、コーディネーター等へのヒアリングを行い、課題を洗い出す。・これらを踏まえ部会を開催して提言方針を協議して提言の素案をまとめる。	<p>コーディネーターの課題について把握するため、(公財)いわて産業振興センターが主催したコーディネータースキルアップセミナーに参加して情報収集したほか、先進事例調査として浅間リサーチエクステンションセンターや(公財)横浜企業経営支援財団の活動を調査して知見を高めた。</p> <p>また、岩手県科学ILC推進室と連名で「コーディネーターアンケート」調査を岩手県内全自治体を実施しているところである。</p>

3. 今後の活動方針・予定

本部会は、機構設立当時から地域ものづくり産業に対して地域産学官が支援すべき7項目について順次検討を行い、その中の懸案事項であった企業連携や産業復興に不可欠なコーディネーターの活動の在り方についてとりまとめて、機構関係者に提言して活動を一旦終えることとしたい。

平成28年1月8日

岩手県内市町村の担当部課長各位

いわて未来づくり機構産業復興作業部会
部長 藤代博之(岩手大学教授)
岩手県政策地域部科学I L C推進室
室長 佐々木 淳

コーディネーターアンケートについて

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。本県の産学官連携の推進に対しまして日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、産学官の組織のネットワークであります「いわて未来づくり機構」の産業復興作業部会では、地域創生に対する産学官連携の役割の大きさに着目し、その実務を担っているコーディネーターの活動状況について、岩手県とともに調査を行うこととしました。

つきましては、下記により貴職が直接または間接に雇用しているコーディネーター等の状況につきまして、下記により回答いただきたくお願いします。

記

1 調査対象となるコーディネーター等の範囲

大学や試験研究機関の研究成果を発掘して商品化するまでの段階において様々な支援を行う人材、または、ベンチャー企業の設立や育成、シーズ・ニーズマッチングによる新ビジネスの立ち上げを支援する人材であって、勤務形態は常勤または非常勤とし、活動の対価として個別に謝礼を受け取る者は除きます。

具体的なコーディネーターの職種(呼称)次のとおりです。

産学官連携コーディネーター、科学技術コーディネーター、知的財産マネージャー、技術移転マネージャー、技術移転コーディネーター、知的財産アドバイザー、特許流通アドバイザー、特許情報アドバイザー、NEDOフェロー、クラスター・マネージャー、インキュベーションマネージャー、マッチング・プランナー、その他地域が産業振興のために雇用するコーディネーターなど

2 調査内容

別紙のとおり

3 回答期限

平成28年2月1日

4 照会先

岩手大学COC推進室 小野寺純治

住所：岩手県盛岡市上田 3-18-6

電話：019-621-6053 FAX:019-621-6928

E-mail：jonodera@iwate-u.ac.jp

コーディネーターに関するアンケート調査

問1 回答される方のお名前、御所属等について伺います。

団体名			
御所属			
職		御名前	
電話番号		F A X	
E-mail			

問2 コーディネーター（CD）の雇用状況について伺います。

貴団体ではCDを雇用されていますか？該当する方の番号を○で囲んで下さい。

① はい → 問3へ

② いいえ → 問7へ

問3 CDの雇用形態について伺います。

問3-1 職名 _____

問3-2 人数 _____ 名

問3-3 雇用されている方は常勤、非常勤のいずれでしょうか？

常勤 _____ 名 非常勤 _____ 名

問3-4 雇用の財源は何でしょうか？該当する方の番号を○で囲み、外部資金の場合にはその名称もお答え願います。

① 自己資金

② 外部資金（資金名 _____）

問3-5 雇用期間は定めておられますか。該当する番号を○で囲み、定めている場合には年数もお答え願います。

① 定めていない

② 定めている（雇用期間 _____ 年）

問4 CDの活動内容について伺います。

該当するものに○をつけてください（いくつでも）。

① 研究者、企業等の紹介・引き合わせ

② 情報収集

- ③ 研究成果の発掘
- ④ 交流会、研究会等の開催
- ⑤ 技術の評価
- ⑥ 国や地方自治体のプログラムへの応募支援
- ⑦ 特許化支援
- ⑧ 技術指導
- ⑨ ライセンシング
- ⑩ 経営支援
- ⑪ マーケティング支援
- ⑫ ビジネスモデル作成支援
- ⑬ 金融関係支援
- ⑭ その他 ()

問5 CDの活動状況について伺います。

問5-1 CDの活動をどのように評価されておりますか？該当する番号を○で囲んで下さい。

- ① 大変満足
- ② 満足
- ③ やや不満
- ④ 不満

問5-2 CDの主な成果を3つまで挙げてください。

第1 _____

第2 _____

第3 _____

問5-3 CDの雇用や活動に当たっての課題をどのようにお考えですか？重要と思われるものを3つ選んでください。

第1		第2		第3	
----	--	----	--	----	--

- ① マンパワー（人数）が不足
- ② スキルが不足
- ③ 雇用期間が短い
- ④ 活動資金（旅費）が不足
- ⑤ 活動資金（調査費）が不足
- ⑥ 活動資金（その他）が不足（具体的に：)

- ⑦ 人的ネットワーク構築が課題
- ⑧ 勤務時間に制限があり、自由な活動ができない
- ⑨ 周辺でのCDの活動への理解がない（少ない）
- ⑩

その他（ ）

問6 CDへの研修について

問6-1 CDに対して研修を行っておりますか？該当する番号を○で囲み、実施している場合には研修（分かる範囲で）の名称を記入してください。

- ① はい（研修名 ）
- ② いいえ

問6-2 CD研修は必要と思いますか？該当する番号を○で囲んでください。

- ① はい
- ② いいえ
- ③ どちらともいえない

問6-3 問6-2で①の「はい」と回答された団体に伺います。どのような研修が必要と思われるものを具体的にご記入願います。

問7 コーディネーターの雇用希望について

問7-1 CDを雇用している団体にお伺いします。CDの人数は充分でしょうか、貴団体の場合に適正と思われる人数は何人とお考えですか？

適正人数____名 現在の雇用人数____名 不足____名

問7-2 CDを雇用していない団体にお伺いします。

問7-2-1 CD雇用したいとお考えですか？その場合何人必要とお考えですか？

- ① 必要 必要人数____名
- ② 必要ではない
- ③ どちらともいえない、よく分からない

問7-2-2 問7-2-1で「必要」と応えた団体にお伺いします。現在雇用ができない理由についてどのようにお考えですか？（自由記載）
